

## 第4回 定例会

(11月28日～12月11日)

# 令和6年度の補正予算などを 審議しました

令和6年第4回定例会では、令和6年度補正予算や札幌市宿泊税条例案などの議案95件、諮問1件、意見書3件などを可決しました。

## 可決した主な議案 ～補正予算と条例案～

### 令和6年度の補正予算

以下の経費など、全会計総額208億3,178万円を増額する補正予算を可決しました。

- 住民税非課税世帯支援給付金
- 職員の給与改定関連費
- 介護保険制度の改正に伴うシステム改修費の繰出金

### 札幌市宿泊税条例案

観光振興の新たな財源として『宿泊税』を導入するもの。

#### 【税率】

宿泊料金5万円未満…1人1泊200円  
宿泊料金5万円以上…1人1泊500円

宿泊税で得られた収入は、本市が、国内外の旅行者に選ばれる持続可能な観光都市として発展するために、都市の魅力を高め、観光の振興を図る施策の費用に充てることとします。



## 可決した主な意見書(概要)

### 意見書

意見書とは、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するため、市議会の意思を決定し、国会や政府などに提出するものです。

### ゼロカーボン北海道の実現に向けた 森林・林業・木材産業施策のさらなる充実・強化を求める意見書

全国一の森林面積を有する北海道は、2050年までに道内の温室効果ガスの排出量の実質ゼロを目指すゼロカーボン北海道を表明しています。その実現に向けた森林・林業・木材産業施策のさらなる充実・強化を図ることは、国の目標を達成するためにも重要な意味を持つものであることから、国会および政府に対し、次の措置を講ずるよう強く要望します。

- ①適切な間伐や伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
- ②成長が早く形質の優れたクリーンラーチなどの優良種苗の安定供給、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材加工・流通体制の強化、建築物の木造・木質化や木質バイオマスエネルギーの利用促進などによる道産木材の需要拡大、外国人材も含めた森林づくりを担う人材の育成・確保、木育の推進などに必要な支援を充実・強化すること。

上記を含む、可決した3件の意見書の全文は、市議会ホームページに掲載しています。



意見書